

## 市民活動について

公明党  
勲

**問** 昨年度より市民活動団体を支援する目的で始めた制度と市民活動等の入門講座の状況について伺います。

**答** 市民活動団体登録制度は、「砂川市協働のまちづくり指針」にある「市民活動の普及啓発と市民参加の促進」の取組みの一つとして、市内で活動するボランティア団体や特定非営利活動法人などの市民活動団体の活動内容、会員募集、団体紹介等の情報を市に登録していたとき、その内容を広報するなど、わやホームページで紹介することによって、広く団体や活動の周知を図り、活動の活性化や会員の拡大、団体同士の連携につなげるほか、自分も何かやってみたい、と思っている市民の社会貢献活動への参加機会を拡大することを目的として創設しました。

市民活動等入門講座は、協働のまちづくりを推進するにあたり、市民活動団体等の活動を担っていく人材の育成と、将来的に活動を

支えていく人材を確保することを目的に、市民活動や地域活動、まちづくりに関心・興味のある方を対象に、講座を開催しています。2年連続して参加される方など、「砂川市協働のまちづくり指針」に掲げる施策展開に一定の成果があったと考えています。

**問** 活動をもっと市民に広めるため今あるホームページでクリックして出てくる箇所の変更について伺います。

**答** 来年からの新しいホームページで一元管理の中で普段の活動が見られるよう検討します。



## 土地改良事業と

## 農業の六次化について

市民クラブ  
中道 博武

**問** 近年、米価の低迷、TPP問題等先行き不透明な農業行政の中で、農業者の高齢化や後継者不足など農業を取り巻く環境は増々悪化してきています。市内の農地は、小区画で数多くの枚数を耕作しており、このことは作業効率の悪さに加え、コスト上昇による所得の低下を招いています。農地の総合的な土地改良事業について伺います。

**答** 現在、農業基盤整備促進事業を活用し、小規模な基盤整備を対象に補助金を交付しています。総合的な土地改良事業の場合は、道営農地整備事業などで一体的に整備することが考えられますが、地域からの事業実施要望があれば市としては、関係機関との連携を図り地域の機運を盛り上げ、事業実施に向け対応したいと考えています。

**問** 農産物の加工・販売を一体とした農業の六次化の取組みについて伺います。

**答** 六次産業化に対する国の支援

としては、六次産業化ネットワーク活動整備交付金事業があります。道では、北海道の六次産業化サポートセンターを開設し六次産業化企画推進員による個別相談や事業計画づくりのサポートを実施しています。

市としては、これらの情報提供と事業計画の作成支援や交付金の獲得に向けての支援などを行い、市役所経済部も門戸を開いて相談しやすい様な体制づくりをし、サポートさせていたくださながら、六次化の実現につなげたいと考えています。



水田の基盤整備

## 駅前歩道の

### 通行止めについて

市民の声  
小黒 弘

**問** 現在、「道道砂川停車場線」の歩道において、隣接する空き家の適正な管理がされていないため通行止めになっています。これまでの北海道及び砂川市の対応と今後の取組みについて伺います。

**答** 道道を管理する北海道が、空き家に設置されている看板の部品の一部に、落下する恐れがあるため、通行止めを行っています。砂川市は、管理不全な状態の空き家として対応しており、北海道には通行止め解除に向け取組みを要望していきます。

**問** 危険家屋の看板の撤去は市の条例の緊急安全措置で出来ると思いますが、市の見解について伺います。

**答** 看板の撤去は代執行で行いたい。当面危険な状況は回避するよう早急に努力します。

### 市内農業の今後について

**問** 農業従事者の高齢化が進んで

いると思います。

農業従事者の直近の年齢構成と新規就農者を増やすための新しい施策について伺います。

**答** 65歳以上の農業従事者数は、339人で高齢化率は58.1%です。今後、新規就農者を増やす新たな施策としては、「小規模な農地で初期投資が比較的少ない施設園芸農業」のメリットを売りに研修生を募集したいと考えています。

また、農作物ごとの研修先となる農家の受入れ体制の強化やパンフレットの作成、短期間の農業体験研修等も検討します。



## 砂川市の

### 接遇教育について

市民クラブ  
増山 裕司

**問** 市役所、市立病院の接遇教育について ①接遇教育の現状 ②接遇マニュアルの整備とホームページへの掲載 ③接遇教育の外部研修機関への委託についてそれぞれ伺います。

**答** 市役所の接遇教育については、①採用時、中級職員、上級職員各研修で市民への接遇を含めて、役職に応じた基本研修を実施しています。②全庁的に共通した接遇マニュアルは作成していませんので、市民生活課で作成したマニュアルをベースに、他自治体、民間等を含めた広い視野で作成し、できたマニュアルはホームページ等に掲載していきます。③接遇マニュアルの作成に合わせ、研修方法についても内部だけでなく外部の力を借りながら行っていきます。

市立病院の接遇教育については、①職員採用時に接遇研修を実施し、その後は医療現場の実践で指導・教育を行うと共に、職員全体への接遇研修会も開催しており、ご意

見箱や「患者満足度調査」の結果も接遇教育に活かしています。②全職員用の接遇マニュアルは作成していませんが、「病院理念」や「基本方針」はホームページに掲載しています。病院は多職種であり全職員用の接遇マニュアルの作成は難しいものがありますが、先進事例も含めて調査検討します。③過去にも外部講師を招いた接遇研修を実施しており、本年7月にも実施します。今後も根気強く継続的に取り組んでいきます。

